

令和三年第一回薩摩川内市議会臨時会 施政等の概要

令和三年第一回市議会臨時会の開会に当たり、一言御挨拶申し上げますとともに、このたび提案いたしました補正予算案の概要を御説明し、議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

今月七日、政府は、埼玉、千葉、東京及び神奈川の四都県に新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を発出し、十三日には、栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫及び福岡の七府県を対象区域に追加しました。

本市におきましても、年末から年始にかけて、新型コロナウイルス感染症の感染者が断続的に確認されているところであり、市民生活や社会経済活動への影響は深刻であります。

そうした中、政府は、新型コロナウイルスワクチンの接種開始に向けた準備を加速しており、本市といたしましても、今月十五日に「新型コロナウイルスワクチン接種準備プロジェクトチーム」を設置いたしました。今後、ワクチン接種開始に向けた情報収集や関係機関との調整を着実に進めて参ります。

また、昨年暮れ以降、飲食業を中心とする中小・小規模事業者の皆様が非常に大きな打撃を受けておられます。

更に、今月二十二日には、鹿児島県知事が、現在の本県における

新型コロナウイルスの感染拡大と医療提供体制の状況を踏まえ、警戒基準をステージ三（感染者急増）に引き上げ、感染拡大警報を発令するとともに、本市を含む五市の飲食店に対し、営業時間短縮を要請され、厳しさは増しております。

本市におきましては、これまで知事の「本県がステージ三に近づきつつある」とのコメント等を十分に注視しながら、本市独自の緊急支援対策の準備を進めてきたところであり、現在の困難な状況を乗り越え、コロナ禍後の復興に希望をもって、官民一体となって共に歩みを進めるため、今回、積極的な地域経済対策を講じる次第であります。

今後も引き続き、国・県の動向を踏まえつつ、地域経済回復の取組を進めて参ります。

一方、今月十二日には、さつま町の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザによる死亡鶏が確認されたことから、鹿児島県や関係機関の協力のもと、同養鶏場の肉用鶏約三万二千六百羽の殺処分が行われました。養鶏は、北薩地域を代表する一大産業であり、関係者の迅速な対応に改めて敬意を表します。本市も鹿児島県からの要請により、いち早く職員を派遣し、消毒作業等に当たっております。

また、十六日に甑島で回収されたマガモ一羽の死亡個体からも高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことから、関係機関

と連携して防疫対策を実施中であり、更に対応に必要な薬剤や機材等の確保を進めて参ります。

このような考えのもと、今回提案いたしました第十三回補正予算案については、一般会計において九億五千五百一十万円の増額をいたしております。

新型コロナウイルス感染症に関連し、ワクチン接種等に要する費用を計上したほか、地域経済対策に係る経費を計上するとともに、高病原性鳥インフルエンザの感染防止対策に係る経費についても計上いたしております。

なお、歳入におきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に対する国庫支出金及び減収補填債を計上いたしております。

提案いたしました議案の細部につきましては、主管部・課長から説明させていただきますので、慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。